



## 8月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園  
2025年 8月1日

### \*保育目標 反省 すみません\*

- ・「ごめんなさい」「ありがとう」が、素直にいえる。
- ・夏の遊びに積極的に取り組み、楽しさを発見する。



### 【法話】

#### 「お盆」

梅雨の時間が短く、7月に入り毎日30℃越えの真夏日・猛暑日が続きました。8月もうひと月、熱中症対策をして、暑さを乗り越える工夫をしながら、保育園生活を楽しんでいきたいと思います。

日本の夏には、昔から全国的に「お盆」があります。各地で色々な風習・伝統行事がありますが、本来の「お盆」は、インドの「ウランバーナ」という言葉が、漢字の「盂蘭盆」にあては

められ、短く略されたもので、意識すると「解倒懸」という意味です。「倒懸」とは、さかさまにつるされることで、大変苦しい状態です。その苦しみから解かれ救われるのが、「解倒懸」です。お釈迦さまの十大弟子のお一人である目蓮尊者、そ

のお母さんが、仏法によって、餓鬼道の苦しみから救われたという話に基づいています。「倒懸」の状態にあるのは、この私です。さかさまをさかさまと知らず、苦しみを苦しみと知らない私に、迷いを迷いと教え示してくれるのが、お盆の行事です。

「お盆に先祖の霊が帰ってくる」というような俗信迷信に振り回されず、お盆には、先祖も私も共に、「倒懸(さかさま)」の苦しみ迷いから救われていく、仏教・お念仏の教えを、感謝の気持ちのなかで、聞かせていただきますよう。

合 掌



### 今月の行事予定

8・18日 礼拝

特別保育 13日～16日(申し込み終了)

発育測定(12日あひる・ひよこ 18日 ぞう・きりん

19日 うさぎ・りす)

4～8日 避難訓練 20日 クッキー作り

21日 誕生会 29日 佐山小学校見学(ほし組)

29日 奉仕作業② 保護者会役員会



### いのちが真ん中であること

暑い熱いという言葉が飛び交う毎日ですが、子ども達の園生活の営みは、いのちが脈々と続いています。

GW 後に植えた野菜達も、子ども達の毎日の水やりと日光の力、もしかするとお猿さんに書いた手紙(「おさるさん、わたしたちがびざをつくるおやさいはのこしてね。」)のお陰で、無事立派に育って、クッキングすることができました。いい匂いがするよと取れたて野菜に鼻をくっつける子、髭の下のトウモロコシの粒を触り、いのちの温かさを感じる子、園庭側からフェンス越しに野菜の成長を眺めている子もいます。苦手な野菜も、栽培すること・調理することで、おいしさを感じた子もいます。

反対に、職員室前で育っていた大きな幼虫カブトムシは、1匹は無事カブトムシの成虫になりましたが、殆どの幼虫は途中のサナギで息絶えてしまっていました。大好きなゼリーを準備して、大好きな葉っぱのおうちも準備したのに、、、。頭が外れ、死骸になっても、もしかすると新しい餌をやったら元気になるかもよと、毎日欠かさず観察してくれる子どもたち。「生きている」だけでない、いのちもあることを、もうしばらく観察させていただこうと、そのままにしています。

7月の最終日、佐山小学校の先生から、「小学校って、たくさん失敗してもいいところ、間違ってもいいところ。」と教えていただき、ちょっと意外で、でも安心した様子のほし組さんたちでした。みんながはなまるを付けていただいて大喜びでした。そんな中、「先生あのね、みんなにないしょだけど、小学校に行く練習してるんよ。いけない事したら、『ごめんなさい』。お友達がいたら『一緒に遊ぼう』ってお話すること。」

いのちを真ん中に、自分のいのちもお友達のいのちも輝かせ、いのちに生かされている子どもたちです。

